

市民が利用しやすくにぎわいのある施設に 庁舎等複合施設テラス沼田の起工式

庁舎等複合施設テラス沼田の起工式が12日、テラス沼田3階で開かれ、工事関係者や来賓などが出席しおこなわれました。

来賓あいさつで市長は、「この施設は、市役所だけでなく市民活動施設、商業施設として、市民に利用しやすく、にぎわいのある施設となるようにしていきたい」とのべました。

工期は、平成30年12月28日までで、契約金額は、46億8,720万円です。



土屋文明記念文学館移動展「夢見る女性誌」展

白沢町公民館3階展示室で、県立土屋文明記念文学館の移動展示として明治時代から昭和30年代の女性誌をあつめた、「夢見る女性誌」が21日まで開かれています。



明治時代に平塚らいてうなどによって創刊された「青鞥」（復刻版）、大正時代に創刊された「婦人公論」などが展示されています。戦争の足音がする昭和初期の展示など、時代の移り変わりを知ることができます。

上原町自主防災組織が災害図上訓練

上原町自主防災組織は7日、区民館で市役所職員を講師に災害図上訓練をおこないました。

訓練では、5つのグループに分かれ、大雨による被害を想定し、浸水の予想箇所や崖すれが発生すると思われる場所などを地図に落とししたり、住民をどこに避難させるかなどを各グループごとに話し合いました。



続ぶらい散歩 めまた道 川田地区あれこれ 特別編その二十三

鏡山と天狗堂

上川田町の東光寺の北側の鏡山は、上川田八景の一に「鏡山の遠景と祭神」としてあげられ、大天狗小天狗が祀られています。

鏡山には、承和2年（835）ごろ京都の鞍馬寺から眺望が良



いことから天狗が、分身してきましたが、誰も知らなかったの、逆修院の住職の夢枕に立、「我を信仰祭祀すれば加護を与える」と告げ、春と秋の祭りのときは、必ず晴天となるという言い伝えが残されています。

芭蕉さま

川田運動広場の南の擁壁に、地元で「芭蕉さま」とよばれる句碑があり、碑には「うき草やしかも山田の落とし水」と彫られています。この句は芭蕉の作ではなく、滋賀県の膳所藩士だった水田正秀の作で、芭蕉の句ではないのに、この句碑がなぜ「芭蕉さま」とよばれているのかは不明です。



水田正秀と芭蕉は、便りを交わすなど交流があり、子弟の契りを結び、水田正秀は芭蕉を支援していたようです。

核兵器をなくそう！網の目平和行進

核兵器の廃絶を訴え、利根郡内の町村から沼田公園まで歩く、網の目平和行進が9日おこなわれました。

片品村役場、みなかみ町役場、川場村役場では、各町村長と議長から激励のあいさつを受けました。



網の目平和行進は、片品コース、水上コース、新治コース、川場コースの4コースでおこなわれました。

2017年7月16日

NO. 532

日本共産党 大東のぶゆき議員活動地域後援会ニュース

やまびこ

発行所 沼田市下久屋町983 Tel 23-1519 部内資料